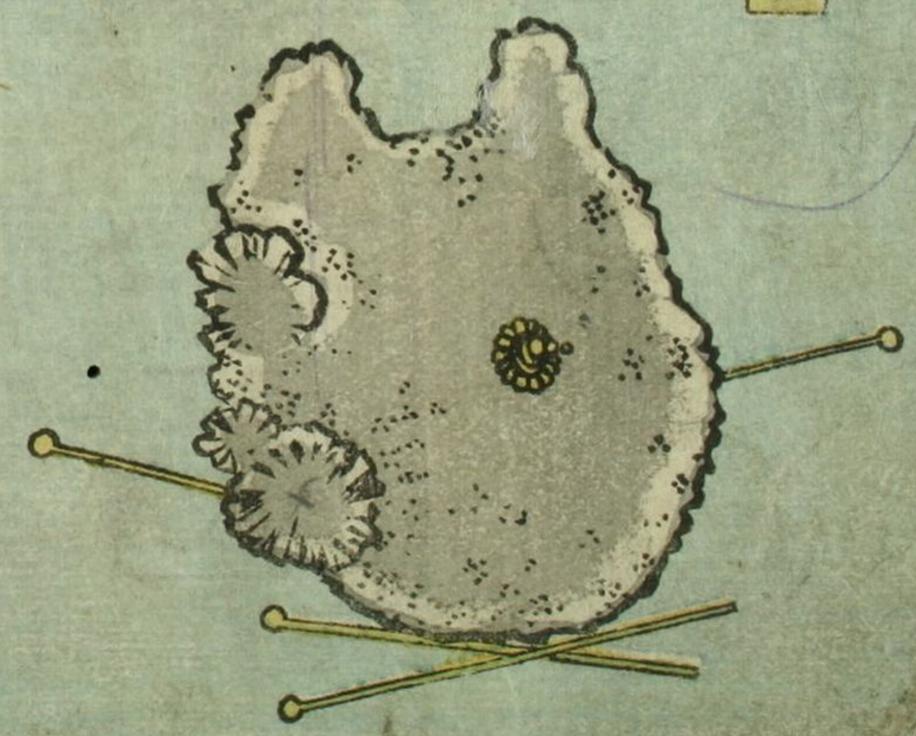


010190517999

A384

春信作
齊芳春画

たむ
ちえ
きん



葛國奇蹟終序言

河小道の管海あり俗拾葉はて射獲を業とせり相國
の風ちよ男ひてあり予も女中ふ花けしと見身ふま成の命解ふ
一毒船れ門口あり是非先生の出席を素人といふは白扇
もたをまぬしの万八橋上り葉知の受込の味とて物け
るを下たなくやとらび新し葛國奇蹟が同屋方好
俗の雨色早きはてて無うなる人ふ名作を宣し
侍る合息と持て降るや小亞墨利加全路出まゆ

48-7983



賢人
リカン山の
センカニ

利加
毛ウシヤウ

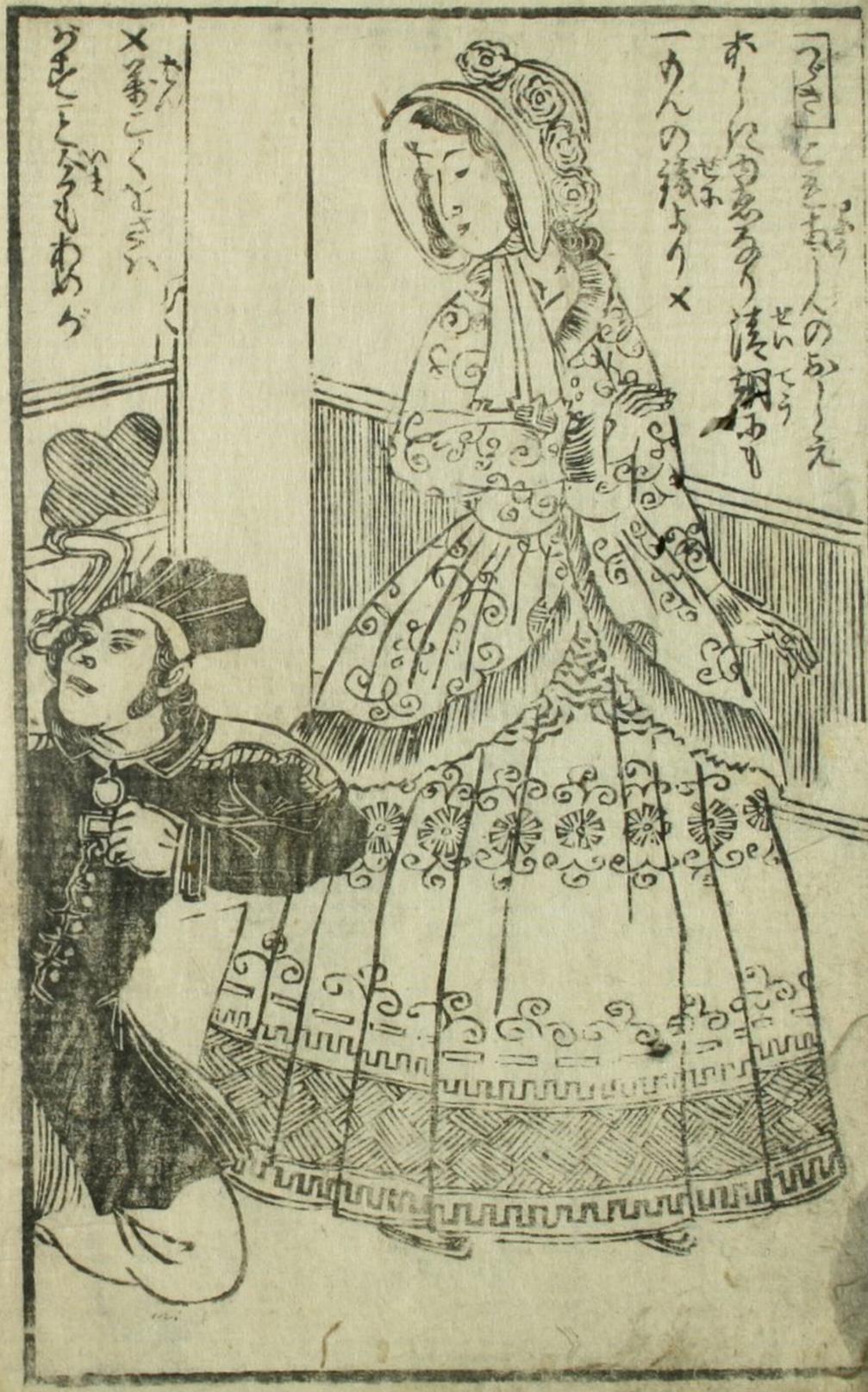


新和蘭陀
南ハルレス
コウシヤウ

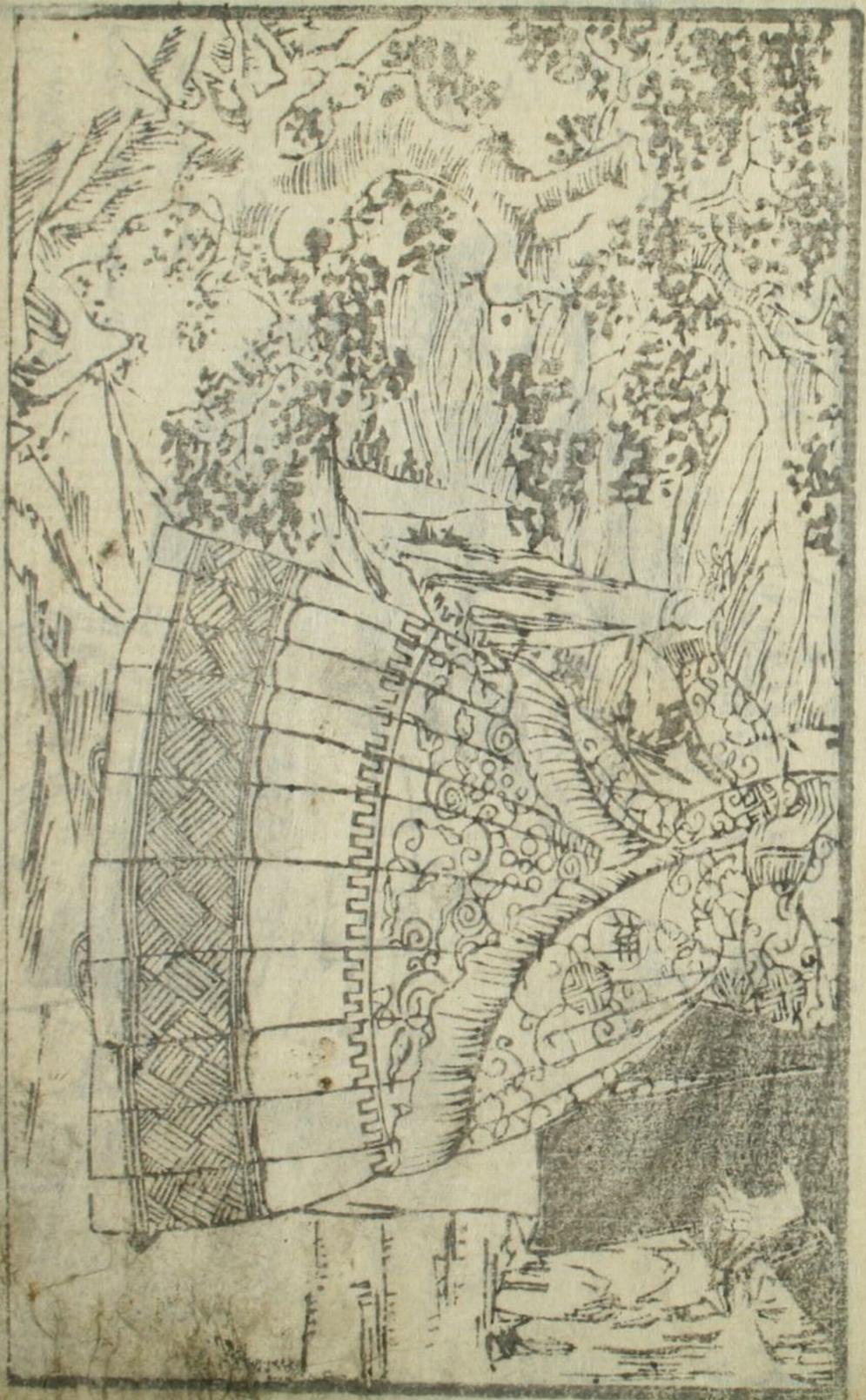
南亞



此の如くは人の世に
 ついでに世にあらは
 るまじりそまき
 こまじりそまきの
 ことなまじり
 こと
 おどろ
 て殺らん
 うくを
 りのぬこ
 りのぬこ
 りのぬこ



此の如くは人の世に
 ついでに世にあらは
 るまじりそまき
 こまじりそまきの
 ことなまじり
 こと
 おどろ
 て殺らん
 うくを
 りのぬこ
 りのぬこ
 りのぬこ



Handwritten Chinese text surrounding the hot air balloon illustration, including a boxed title at the top and several lines of vertical text.



さるりけり



さるりけり
 ぐさくあうしヨウ
 つまてさうり
 さうさうひ
 ひそらふ
 せしき
 をり
 をひ
 つぬき
 ふんぬ
 のりてわあめり
 しくおいすハニヤネ



のりてしほきうり
 なげをふうりて
 つりふわめりら
 俵寸和に履ふ
 つきふ

りふが
 んぬもの
 りのころしマシ
 とんてかどろけ

ちりおぢ
 ちおと



り
 ゐひ
 ひと
 こふのふ

ちあにまこねとらんごみあま
 和留連のころしヤウと
 ちちゆめ

ちあまの



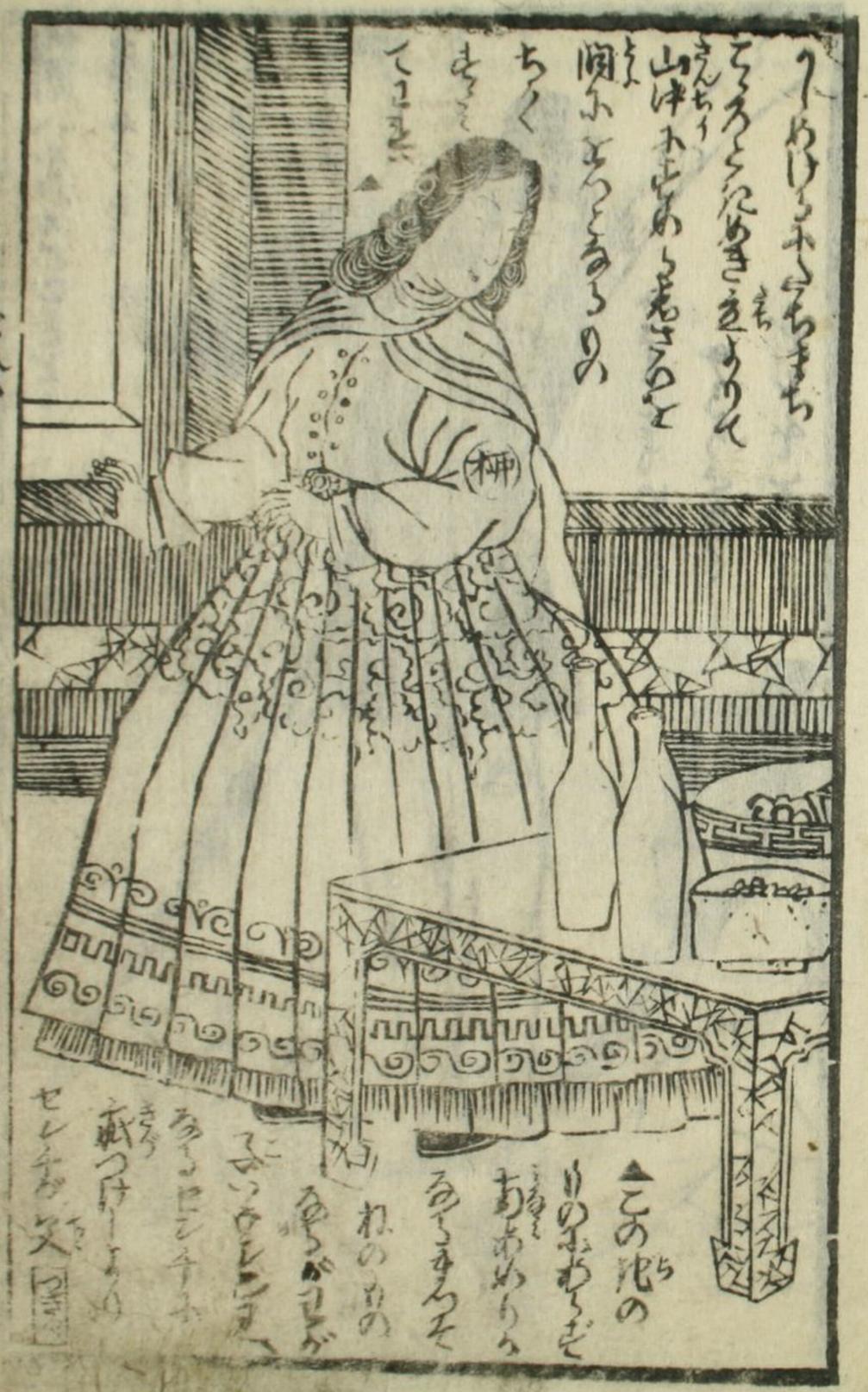
[つ] しがまきよりり
 此の風とささ
 らんあおあきりしもの
 あらんとさへびちりさ
 コウミヤウヤウくみん
 ここのまきいとくり
 ついよこのらふへわたり
 けり此のあまき
 むくさの波をつとめる
 千ヤウキとりよりのめり
 けりがつひあふりり
 [あ]

南亞墨利加
 軍王セキス
 テシ大船



竹まんのうちよ
 色本りて
 かねとつらり
 ふうふとこも
 りのあふふふと
 めをたせ
 ありあふふふ

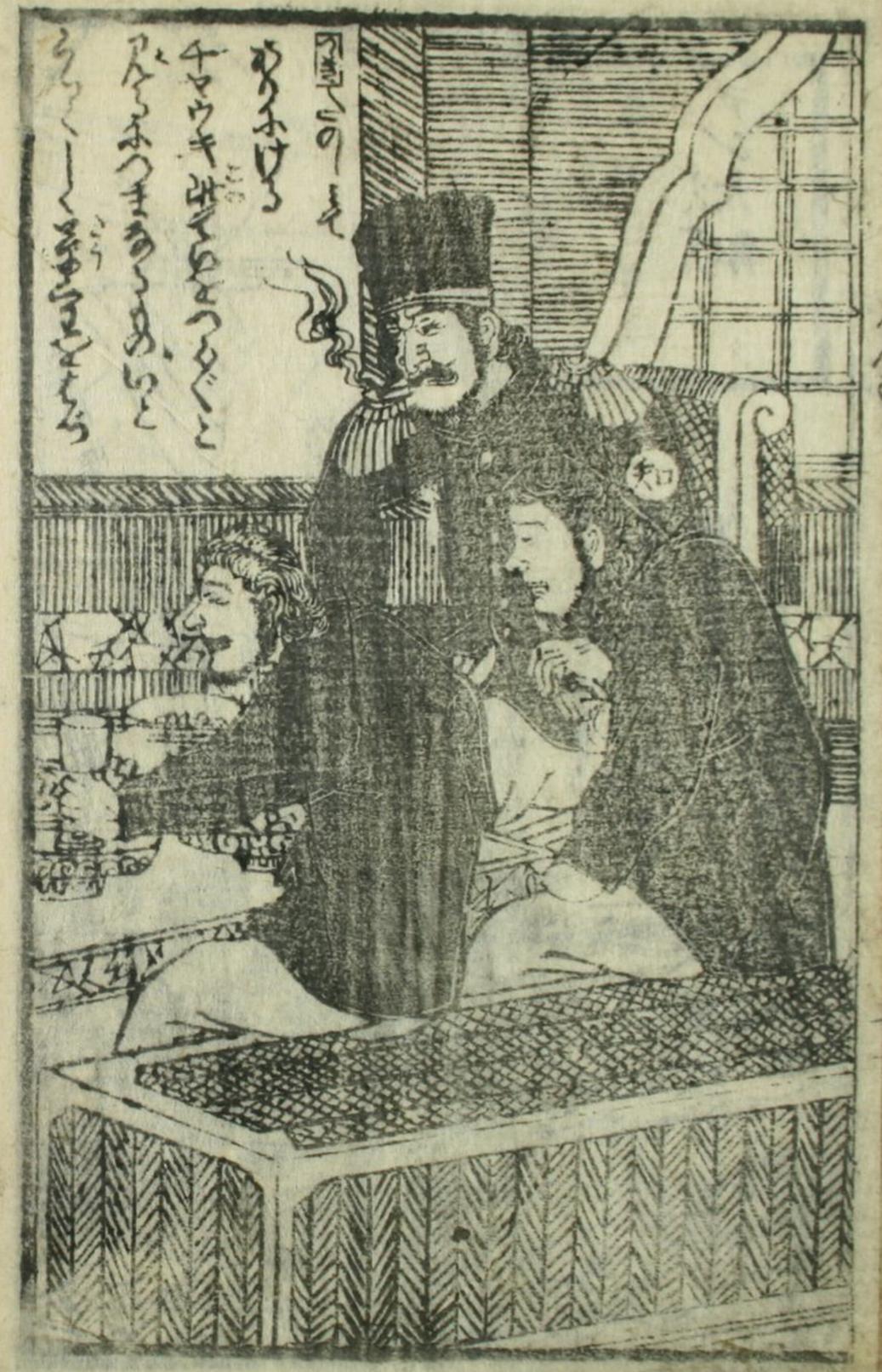




けりけりしふらちまぢ
 こころとたれきさきよりり
 山津小せめしちよりのと
 間ふまらとあつりの
 ちく
 ま
 て

なみちく

この池の
 りのおあさど
 ああめりら
 るるまろそ
 れのいの
 るつがまが
 子にせし
 るるにせし
 蔵つけし
 セレちか



けりけりし
 千々ウキ
 みるふつま
 ろくく

なみちく



〆あうぜんよ
 のこのかんぢや
 〆あうぜんよ
 〆あうぜんよ

〆あうぜんよ
 〆あうぜんよ
 〆あうぜんよ
 〆あうぜんよ
 〆あうぜんよ



〆あうぜんよ
 〆あうぜんよ
 〆あうぜんよ
 〆あうぜんよ
 〆あうぜんよ

〆あうぜんよ
 〆あうぜんよ
 〆あうぜんよ

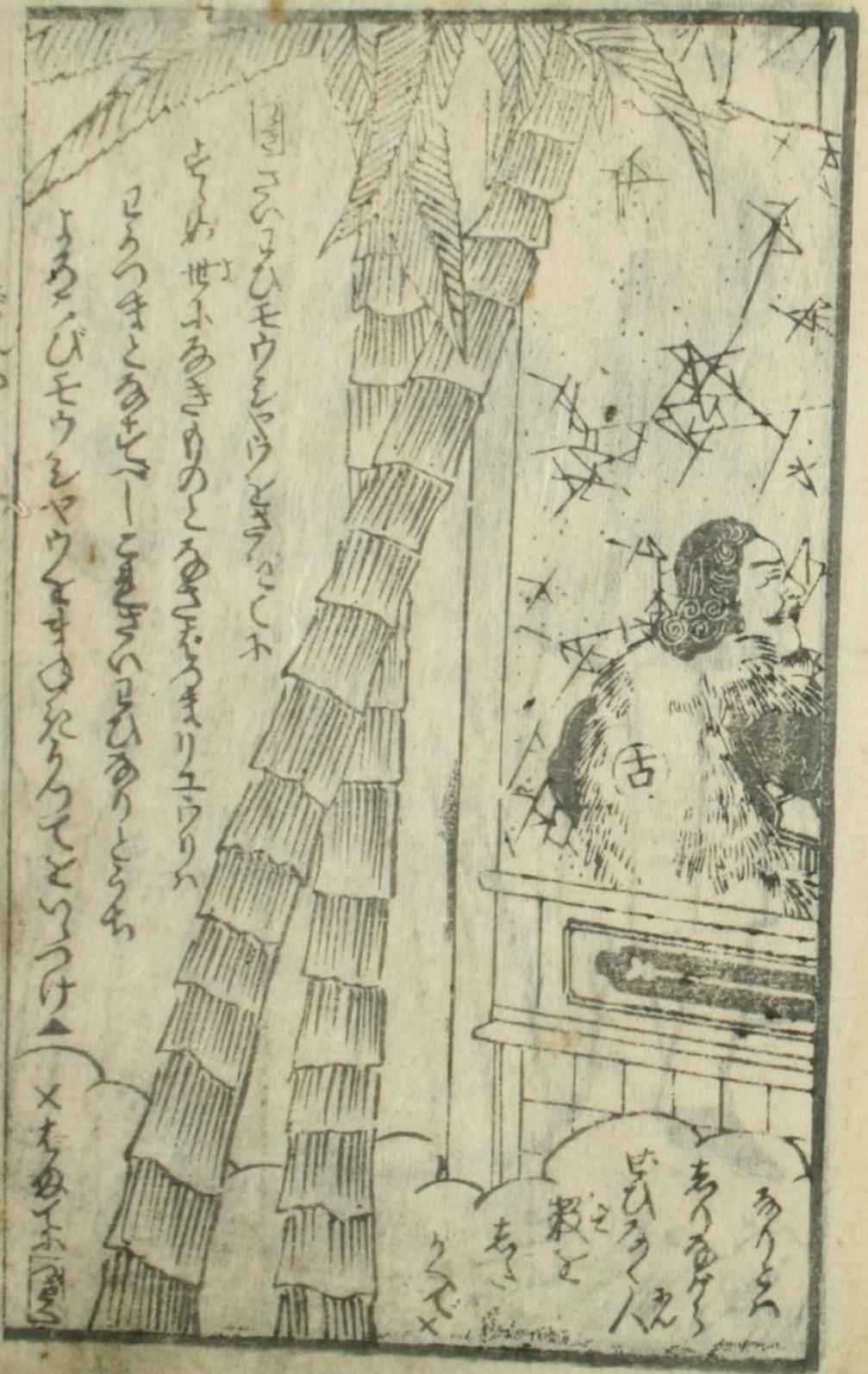


ときくよう
 ちモウヤ
 ウいそぎ
 うの地ふ
 いりひそ
 うふゆうま
 きくありく代



子ヤウキが
 かつまごめ
 ようりごぶ
 わりりま
 ざくおと
 たりく
 ふうく
 ステ
 めい
 むけ
 るい
 トルキ

十六
 十六
 十六



世にふるまひのころまじりユウリ
 こころまじりユウリ
 よろこびユウリ

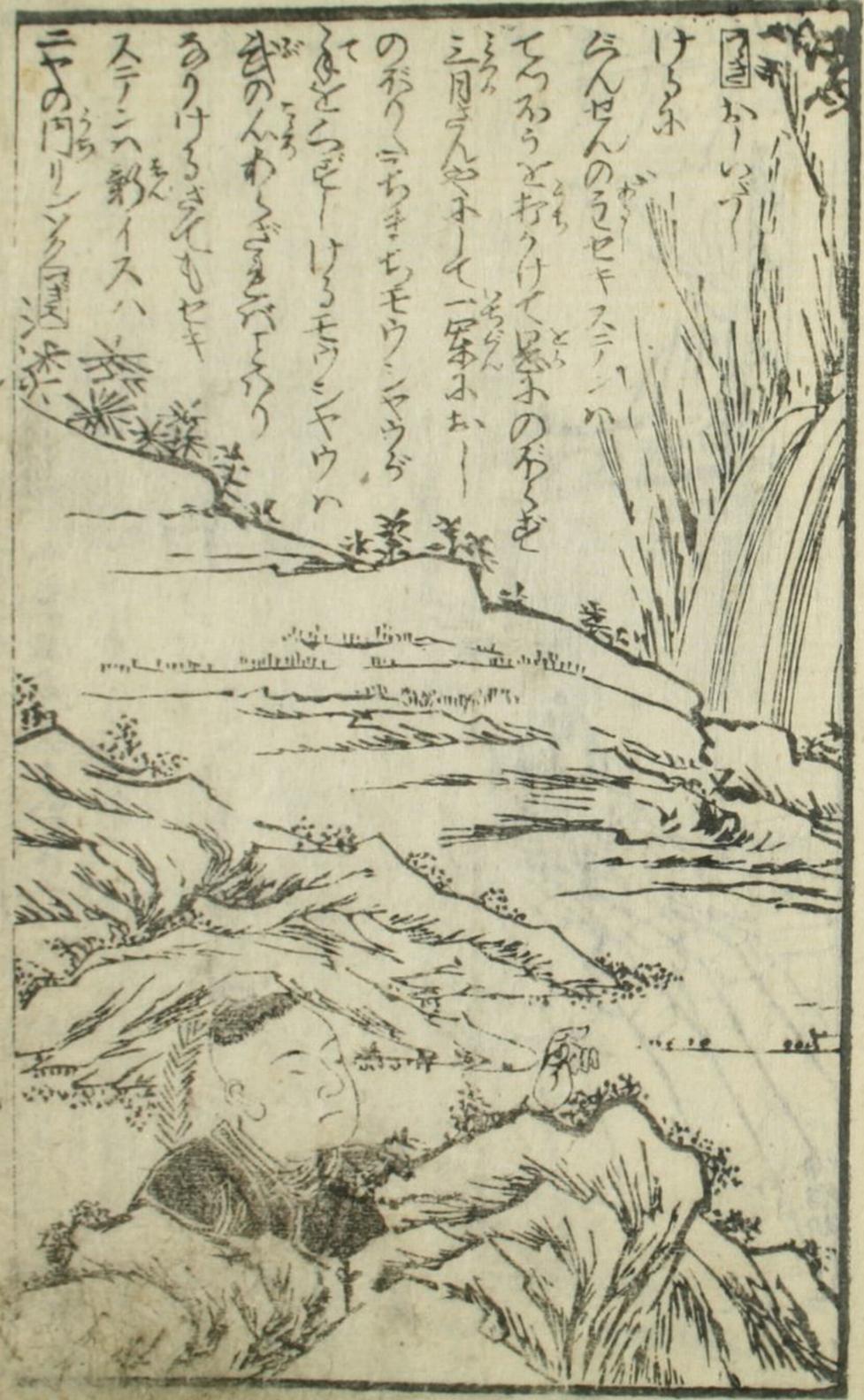
×七ぬいふ

ありと
 ありと
 ありと
 ありと
 ありと



七人土く

けり
 モウシヤ
 ウル
 じと
 ろん
 の
 せん
 こ



けらふ
 せんせんのろせキスア
 てららうと打うけて思ふのちぢぢ
 三月さんやオ一屋おおー
 のちりちちまちモウマウが
 ちとらどーけるモウマウの
 武のんわふふふふふふ
 ありけるさえもセキ
 ステニハ新イスハ
 ニヤの門リンク選





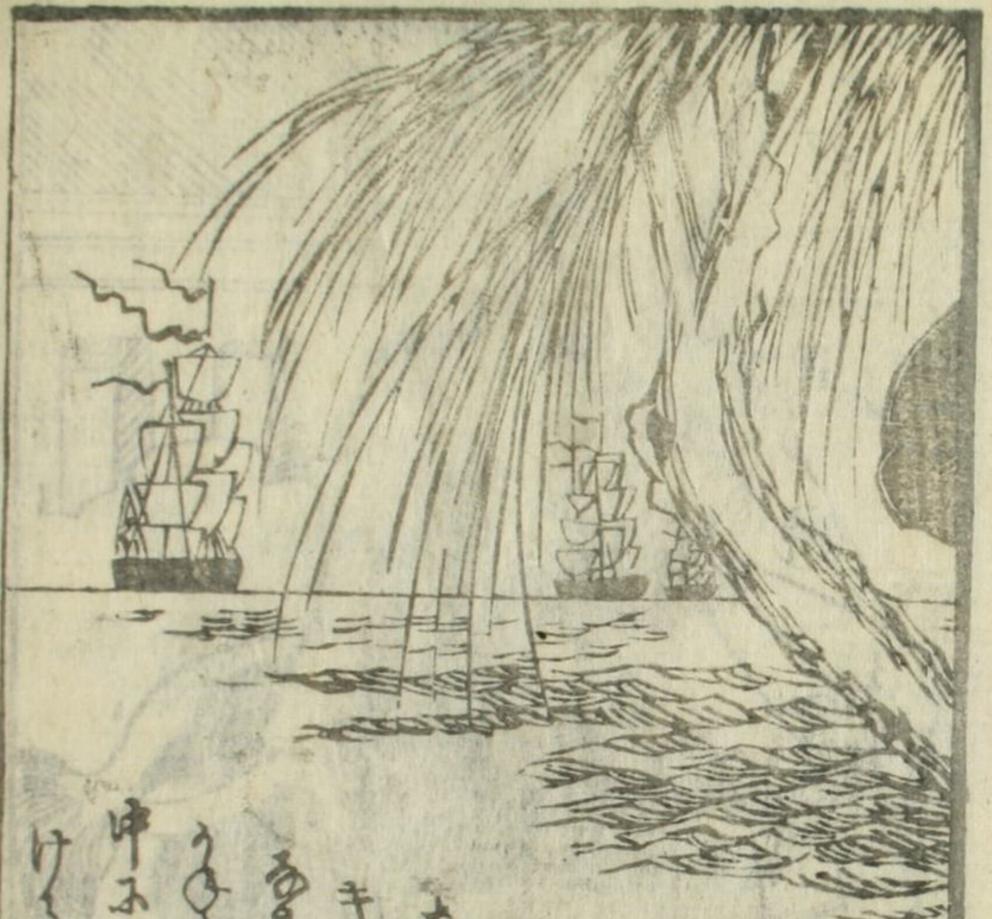


○のあり
 きこりまをもち
 てよびむしん
 ちんたーまをさ
 ひてめたをせ
 るめらうをせ
 きくう
 五光とわやあをせ
 千ヤラキ、ちまちこらと
 うごう、まらちげてあり



つきひとり
 ヤウカン
 のこみ
 のあり
 けるホ
 とのころ
 甘家ふまてぬ
 兵衛よ山沖ホ
 いなりと

山沖



ありとさんごあかくはたうり
 べん命とらとふおはさるよと
 うんてりうふキヤウキリ
 とうちうていひるゆあちり
 あさあさまひるかこま海
 らふうさるべたうと知と
 わりせてらちのひけさかキヤウ
 キヤウてえーあうーや
 あまをせしカンのぬへあり
 うひてあまのてたのうままう
 申ふこあうりーくたごいびこま
 けらあふキヤウキガうま
 二二



モウキヤウガリユウリと
 三三



ちやウキあんトころ
 おちがえわん
 こがつまりエウ
 リとう
 おひめ
 まんま
 こまのせん
 ののこせん
 ずあねんせん
 のうたふ



ちやウキあんトころ
 おちがえわん
 こがつまりエウ
 リとう
 おひめ
 まんま
 こまのせん
 ののこせん
 ずあねんせん
 のうたふ



きりこまれたおをちあぐりおけり
 おりうらたせらふユウキウの
 ちがえてあまさまよりひヤウキホ
 りあはさるるとなげたけりてお

△まき
 トウリン
 つま子イフホネカ
 ままモウシヤウかつま
 リエウリとらふんこまおけり

ちあぐり
 おりうら
 あまさま
 ひヤウキホ
 となげたけり



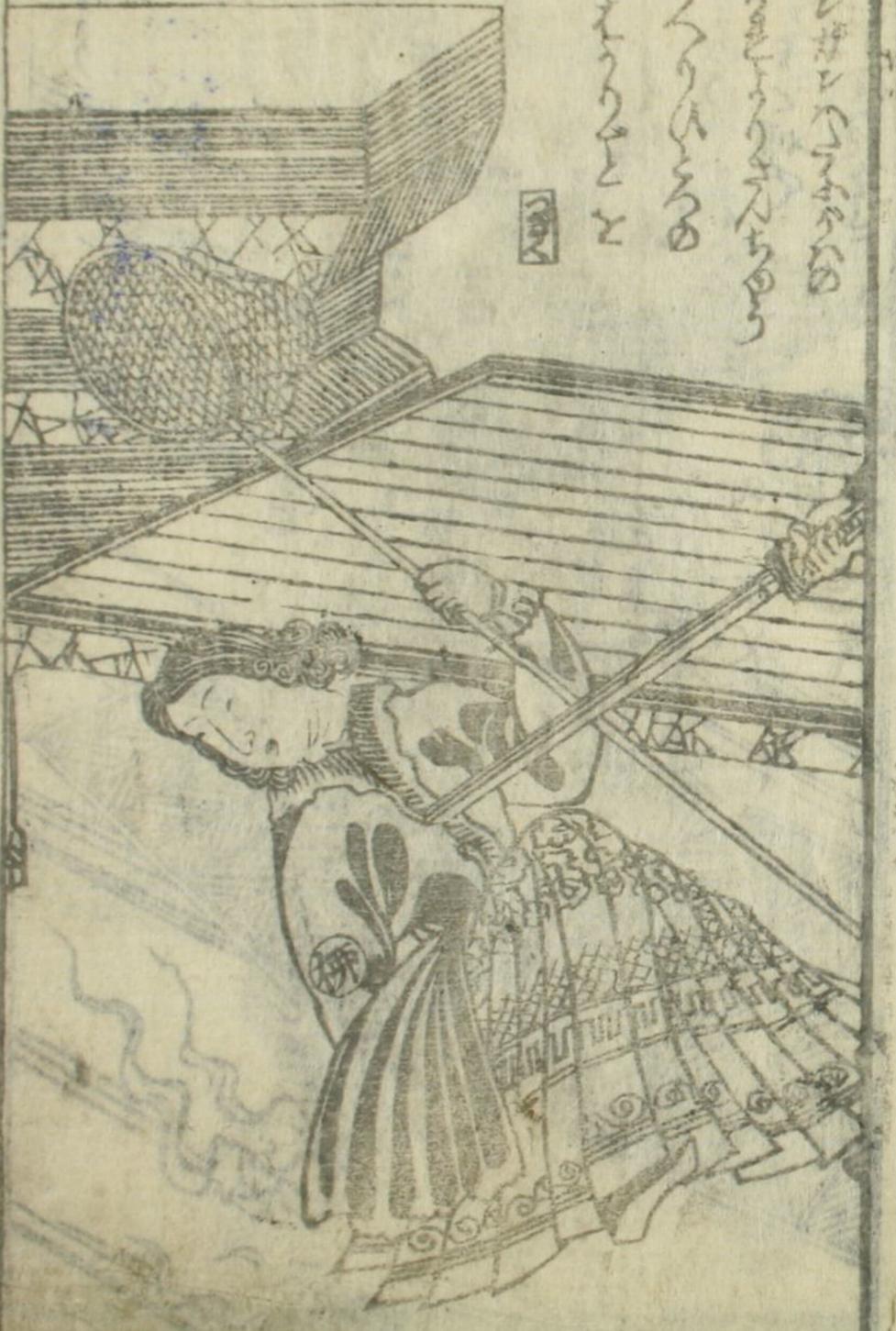
ちあぐり

三十七

23
 セキステレハクち
 むらりてあんどま
 目と^まあてあきぐけお
 上せけはハキヤウキ
 ともせまおし
 こらひけら
 セキステレの
 ぐんばいつ^まん
 こめりえき^ま
 みるこつ
 てス^まん
 引さ^まりぬと^ま



24
 セシガレハクち
 むらりてあんどま
 目と^まあてあきぐけお
 上せけはハキヤウキ
 ともせまおし
 こらひけら
 セキステレの
 ぐんばいつ^まん
 こめりえき^ま
 みるこつ
 てス^まん
 引さ^まりぬと^ま





三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

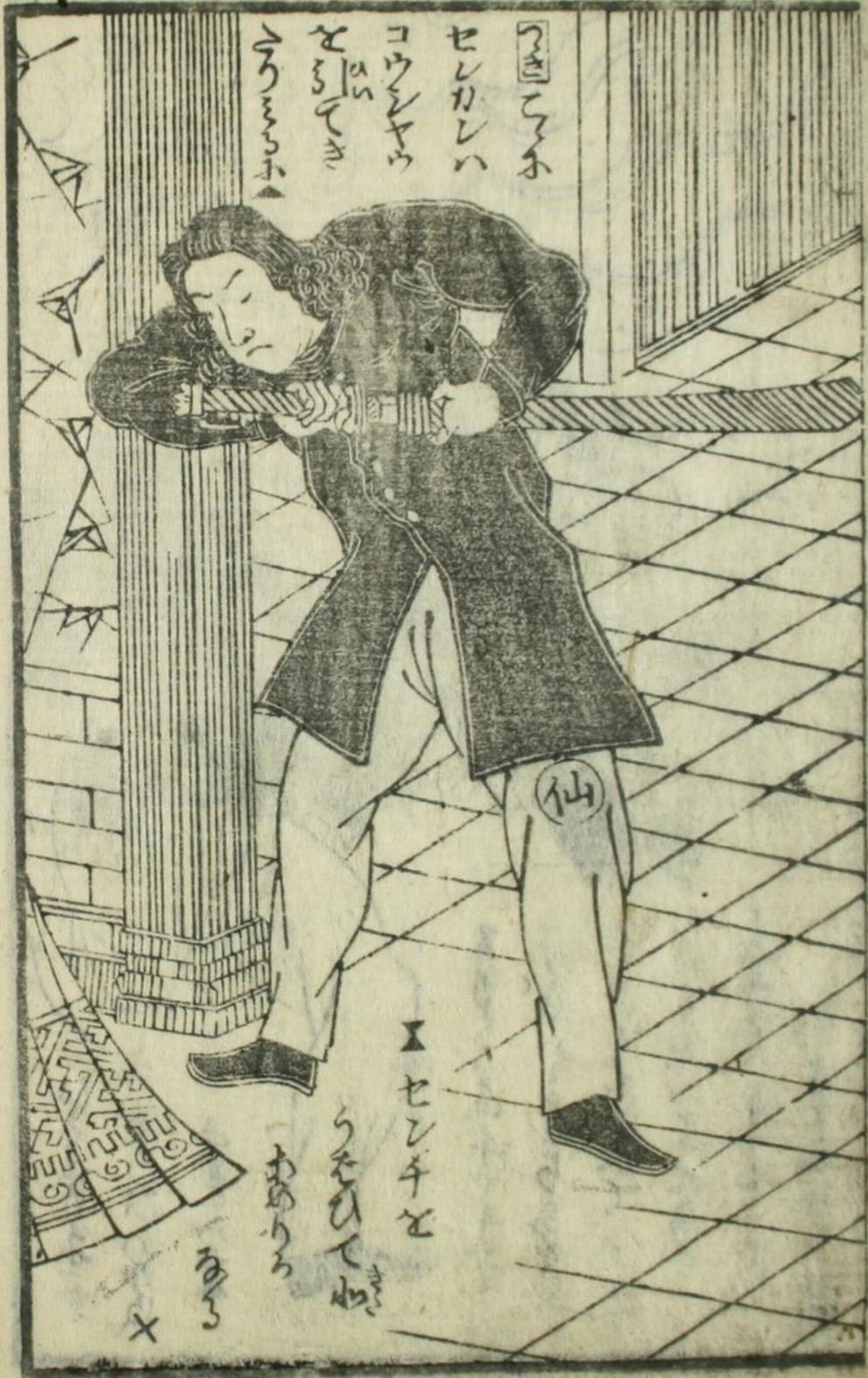


三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



▲おんの
 ぐくキヤウキハ
 おきのうちおちち
 りりしのあさこ
 わさりむせんかん
 つとむけそ
 うちこち〜コウシヤウホ
 ひうひおん〜めく〜
 キヤウキヤウキヤウ
 ハルウルダ〜
 X

Xらん王キステン
 ら〜とさ〜
 X



づき〜
 セレカレハ
 コウシヤウ
 せ〜
 づ〜
 X

Xセンキと
 ら〜
 わ〜
 X

▲おやてごうりや
 とのこひやぐりてあて
 るうりてあふりうり世セシ
 キとあふりうりひひひま
 ぢんあまべーとらんせんあを
 くらけり世とてあうら
 のまのこひやぐりてあて



ステンホ
 コウシヤウ
 古
 テン
 セキス
 りかまののろま
 いあめりうまんと



コウシヤウ
 石
 子
 セレキ
 うをひう
 くらけり世とてあうら
 のまのこひやぐりてあて

國々人きとあき
とを下敷おり
あまのき伴とあ
後のおおさく
めたてて

岳山亭春信作
一番齋芳春画

